

2021 年 10 月 8 日

中期事業計画(2021-2023)に基づく多角化事業再編の進捗について 国内自動車用シートパッド製造拠点集約

株式会社ブリヂストンは、2021 年 2 月 16 日に発表した中期事業計画(2021-2023)において、グローバルすべての地域、領域を対象とした経費・コスト構造改革を進めていることをお伝えしました。経費・コスト構造改革とプレミアムビジネス戦略の推進からなる「稼ぐ力の再構築」をベースに、戦略的成長投資を進め、環境変化に対応しながら着実に成長する“強い”ブリヂストンへの変革を目指しています。

その一環として、株式会社ブリヂストンの国内グループ会社であるブリヂストンケミテック株式会社(以下「BSCT」)およびブリヂストン化成株式会社(以下「BDCP」)で生産されている自動車用シートパッドの国内製造拠点を下表のとおり集約することを決定いたしました。

生産品目	製造拠点集約の概要
自動車用シートパッド	<u>集約前(現在):4 か所</u> BSCT 上尾、名張、防府製造所 BDCP 鳥栖工場
	<u>集約後(2023 年末予定):3 か所</u> <u>BSCT 上尾製造所を閉鎖</u> (閉鎖予定時期:2023 年第 4 四半期) <BSCT 上尾製造所概要> 所在地:埼玉県上尾市 従業員数:63 人(2021 年 9 月末時点) <u>BSCT 名張、防府製造所 / BDCP 鳥栖工場の 3 か所に集約</u>

株式会社ブリヂストンは中期事業計画(2021-2023)に沿って、多角化事業の再編を検討、実行しています。その中で、自動車用シートパッド事業の今後のあり方を総合的に検討した結果、今回の製造拠点集約が当該事業の体質強化に資するものと判断、決定に至りました。

BSCT 上尾製造所の従業員については、豊富な経験とスキル、仕事への熱意、そして強いチームワークを併せ持っており、引き続き BSCT 他製造所などで活躍してもらうことを前提に検討を進めてまいります。

また、お取引先様、及び地域社会に対しては、その影響が最小限になるよう十分配慮した上で、適切に対応いたします。

ブリヂストングループは、事業環境の変化に応じたポートフォリオ経営を推進し、将来にわたって社会価値・顧客価値を提供し続けるソリューションカンパニーへと進化していきます。

なお、本件が当期連結業績予想に与える影響は軽微です。

株式会社ブリヂストンの中期事業計画(2021-2023)の詳細については、[当社企業サイト](#)に掲載するプレゼンテーション資料をご参照下さい。

本件に関するお問い合わせ先
<報道関係> コーポレート広報課 TEL:03-6836-3333
<お客様> お客様相談室 TEL:0120-39-2936